

平和・文化の潮流をわが街に

フレッシュ
いずみ

VOL.36

発行/公明党泉支部
横浜市泉区中田南3-26-6
0045-802-8826

横浜市議員
まさやす
げん なみ 正保

切当選の年、泉区を大きく変えた、市営地下鉄3号線が開通。市中心部へ乗り換えなしで20数分。JR戸塚駅・京急上大岡駅との接続により、都心部や国際化が期待される羽田空港へのアクセスも大きく改善。さらに、小田急・相鉄両湘南台駅との接続により、湘南方面の皆さんの利便性の向上にもつながりました。これらのことが、今後の泉区を考えるベースになることは間違いないでしょう。携わってここに諸先輩方により感謝致します。二つ二つ、後進は、とよ、泉区内に接続駅がないことです。今後に託された課題のようにも感じます。

昨年、米軍施設の返還がE米官意され、跡地利用などについても庁内でプロジェクトが立ち上がりました。深谷通信施設は、全面国有地。その特性を踏まえた研究と、区民の皆様にも分かりやすい説明が必要でです。市内に残る貴重な緑地77ヘクタールが市民は勿論、湘南などの隣接地をはじめ多くの皆さんのための「接続駅」となることを願っています。同時に、アクセスのための周辺整備（道路や新駅など）の研究も必要と思われれます。

また、ドリムランド跡地利用も着手され、隣接地には、県内初の薬科大学の建設も決定。環状4号線が開通すれば、泉区にも新たな人の流れが生まれまします。泉区は、これから、益々重要な時を迎えますが、初心を忘れず、030・防犯・防災対策・環境対策さらに少子化対策など二つ二つに全力で取り組んでまいります。また中田市長は、年頭会見で新基本構想の策定に乗り出す意向を表明。私も議員として積極的に取り組んでまいります。今後共、ご指導ご鞭撻を賜りますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

熱帯雨林の保全を

ソブラルーTTO事務局長が訴え

神奈川県本部が記念講演会

公明党神奈川県本部は11月2日、横浜市に本部を置く国際熱帯木材機関（ITTO）のマノニル・ソブラルー・フイルボ事務局長を講師に招き、「森と水が育むもの」と題し「文化の日」記念講演会を横浜市内で開催しました。講演の中でソブラルー事務局長は、毎年1500万トンの熱帯雨林が失われたことが原因で二酸化炭素が大量に大気中に放出されてしまい、地球温暖化が加速されたり、台風などの異常気象が発生したりしている現状を指摘、「大量の森林を保全するために、日本など先進国が熱帯諸国を奨励することが大切だ」と強調し、熱帯諸国が持続可能な森林経営を可能にするためのITTOの各種事業への理解と支援を訴えました。

初当選以来、地域の中で環境問題に取り組んでいるげん なみ市議は今後も県本部国際平和局長として「市内の国際機関とも連携を図りながら、地球温暖化対策に身近なところから地道な取り組みをすすめていきたい」と決意を新たにしています。



ITTOのレセプションに参加するげん なみ市議ら